LIVING リビング熊本
2024年２月24日号に掲載されました

［エキスパートインストラクターに学ぶ、正しい「ICL」の知識vol.2］ずっと快適が続く「見える生活」

近視治療「ICL手術」レーシックと何が違うの？

白内障手術・ＩCL手術専門 **眼科こがクリニック** 眼科こがクリニック 検索

【読者からの質問】

「近視を治したいのですが、レーシックとICL手術では何が違うのでしょうか？」

（南区・37歳女性）

手術時間はわずか5分程で、近視治療ができる画期的な「ＩＣＬ手術」ですが、レーシックとの違いが分からず踏み出せない人も多いそう。今回１７００眼以上のＩＣＬ手術の実績がある眼科こがクリニック（中央区・八王寺町）の古賀院長に、お話を伺いました。

同じ近視治療でもさまざまな点で違いがある「レーシック」と「ＩＣＬ手術」。まずは術後の見え方ついて伺いました。

「角膜を削るレーシックでは眼鏡やコンタクトでの見え方よりコントラストがやや劣ります。一方で、ＩＣＬでは目に優しい素材でできた特殊なレンズを眼内に移植するため、眼鏡やコンタクトと同じくらい鮮明に見えます。

また、レーシックでは削った角膜が元の形状に戻ろうとするため、長期的に見ると近視が戻ることが知られています。その点、ＩＣＬはレンズで矯正するため長期的にも見え方が安定していることが証明されています。」と古賀院長。

また、術後の目の状態にも違いがあるそう。

「レーシックでは角膜を広範囲に切開して削るため、術後に涙が減りドライアイになりますが、ＩＣＬではわずか3ミリほどの切開のため、涙の分泌も減ることはありません。また、角膜を削る量にも限界があるため、レーシックは強度近視の人や角膜の薄い人は手術できませんが、ＩＣＬではそのような人も手術できます」。

ただし、リスクも知っておくことが大切だと院長は語ります。

「レーシック、ＩＣＬ手術に共通することですが、手術直後に光の輪が見えるハローと光がにじんで見えるグレアを感じます。99％以上の人は数カ月で感じにくくなります。レーシックと違い、ＩＣＬ手術の場合は、どうしても気になる場合はレンズを摘出して元に戻すことができます。この可逆性がある点も、ＩＣＬ手術の安心できる要素ではないでしょうか」。

適切な医療機関選びが重要

ＩＣＬ手術はレーシックと違い、眼科医の中でも認定医しか執刀できません。

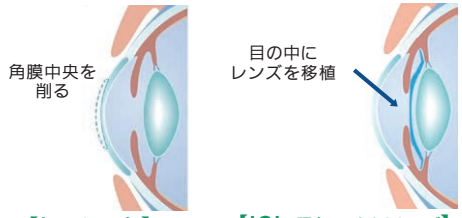
「当院では厚生省に承認されたレンズを使用しています。レンズ自体が高価なため、一般的にレーシックより費用は高額ですが、安全性を第一に考え、術前から術後までしっかり検査しケアします。現在、事前の適応検査を無料で行なっています。気軽にご相談ください」。

眼科こがクリニック　古賀 貴久 院長

【プロフィール】 1995年、熊本大学医学部卒業。同大学眼科研修医を経て、武蔵野赤十字病院眼科（東京都）に国内留学。熊本大学大学院卒業後、医学博士号取得、熊本大学眼科講師。イリノイ大学シカゴ校留学を経て2009年、「眼科こがクリニック」を開院

- これまで1700眼以上（2016年～2023年）のICL手術の実績
- クリニックにはICL手術を受けた職員が多数勤務

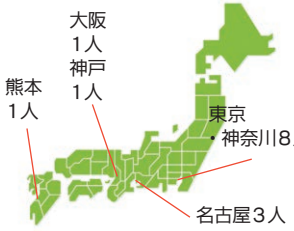
レーシックとICLの比較



【レーシック】　【ICL 眼内コンタクトレンズ】

	レーシック	ICL
●コントラスト（鮮明さ）	○	◎
●長期安定性	○	◎
●ドライアイ	△	○
●ハロー・グレア	△	△
●可逆性（元に戻せる）	なし	あり
●適応範囲	狭い	広い
●認定医制度	なし	あり
●費用	○	△

古賀院長は九州・中国・四国地方では唯一のエキスパートインストラクター（日本全国の眼科医のICL手術の教育を担当）



◎エキスパートインストラクターとは

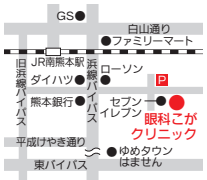
日本全国の眼科医に対しICL手術を教育・指導し、ICLの認定医を決める最終決定権をもつ。また、認定制度の規定にも携わる

眼科こがクリニック ☎096(377)1701

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～11:00	外来	外来	外来	外来	外来	外来
13:30～16:30	外来／手術	外来／手術	外来／手術	外来／手術	休	休

【完全予約制】休診/日曜・祝日

ネット予約はこちらから



〔中央区八王寺町40-5〕

LINEで「ICL相談室」

ICL手術について聞いてみたいことは、なんでも無料で質問・相談できます